

# CONTENTS

## CHAPTER 1

P.8~

### 必修問題

健康の定義	1
人口	2~4
世帯数	5~8
婚姻・家族形態	9
出生・死亡の動向	10~12
死因	13~16
平均余命	17
有訴者率	18
受療率・通院者率	19~21
生活行動・習慣	22~32
生活環境	33~36
職業と疾病	37~40
労働環境	41
ワーク・ライフ・バランス	42
母性保護	43~47
医療保険	48~53
国民医療費	54~55
介護保険	56~59
基本的人権の擁護	60~66
看護の倫理	67~68
保健師助産師看護師法	69~74
看護師等の人材確保の促進に関する法律	75~76
二ード論	77~80
QOL	81
疾病・障害の受容	82~83
人間の成長と発達	84~112
医療提供施設	113~115
保健所・市町村における看護活動	116~117
訪問看護ステーション	118~121
地域包括支援センター	122
チーム医療	123~127
人体の構造と機能	128~158
正常な妊娠・分娩・出産	159~165
人間の死	166~167
症状と看護	168~190
主要疾患と看護	191~210
精神疾患	211~212
小児の疾患	213~216
高齢者の疾患	217~218
薬物治療に伴う反応	219~237
医薬品の安全対策	238~242
看護の基本技術	243~254
日常生活援助技術	255~273
医療安全対策	274~276
感染防止対策	277~280
診療に伴う看護技術	281~291
救命救急処置	292~296
皮膚・創傷の管理	297~300

正文 No.

P.68~

## CHAPTER 2

### 人体の構造と機能

細胞の構造	301
遺伝子と遺伝情報	302~304
組織	305~307
生体リズムと恒常性(ホメオスタシス)	308~312
神経細胞と神経組織	313
中枢神経系	314~318
末梢神経系	319~324
運動器系①骨格	325~326
運動器系②骨格筋	327~333
感覚器系	334~336
循環器系	337~342
血液	343~345
体液	346~347
生体の防御機構	348~355
呼吸器系	356~363
消化器系	364~369
物質代謝	370~374
泌尿器系	375~380
体温調節	381~385
外分泌・内分泌系	386~397
女性の生殖器系	398
男性の生殖器系	399~400

## CHAPTER 3

### 疾病の成り立ちと回復の促進

P.88~

疾病の要因	401~403
創傷と治療	404
炎症、損傷	405~406
循環障害・臓器障害	407~415
免疫異常、アレルギー	416~418
代謝異常	419~420
廃用症候群	421~422
腫瘍	423~426
放射性障害	427
感染	428~438
疾病の診断の基本と方法:生体検査	439~442
薬物動態(吸収、分布、代謝、排泄)	443~444
薬理作用と副作用(有害事象)	445~476
医療による健康被害	477~478
呼吸器系の疾患の病態と診断・治療	479~491
心臓の疾患の病態と診断・治療	492~499
血管系の疾患の病態と診断・治療	500
血圧異常の病態と診断・治療	501
内分泌系の疾患の病態と診断・治療	502~506
代謝異常の疾患の病態と診断・治療	507~511

下部消化管の疾患の病態と診断・治療	512～519
肝臓・胆嚢・膵臓の疾患の病態と診断・治療	520～524
ビタミン欠乏症	525～529
体液調節の疾患の病態と診断・治療	530～532
血液・造血器の疾患の病態と診断・治療	533～539
自己免疫疾患の病態と診断・治療	540～553
アレルギー性疾患の病態と診断・治療	554
免疫低下に関連する疾患の病態と診断・治療	555～556
中枢神経系の疾患の病態と診断・治療	557～573
感覚器系の疾患の病態と診断・治療	574～579
骨・関節の疾患の病態と診断・治療	580～582
泌尿器系の疾患の病態と診断・治療	583～589
生殖器系の疾患の病態と診断・治療	590～598
精神・心身の疾患の病態と診断・治療	599～600

## CHAPTER 4 健康支援と社会保障制度

P.128～

生活単位の機能と変化	601
家族の機能	602～603
ライフスタイルの変化	604
社会の中の集団	605～607
社会保障の理念	608
社会保障給付費	609～610
医療保険制度	611
国民医療費	612～613
介護保険制度	614～617
生活保護法と施策	618～621
障害者(児)にかかわる法と施策	622～631
児童にかかわる法と施策	632～637
高齢者にかかわる法と施策	638～641
配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律	642～644
公衆衛生の基本	645
健康に関連する指標に基づく公衆衛生	646～652
予防接種	653～656
人獣共通感染症	657
地球環境	658～664
ごみ・廃棄物	665
精神保健	666～667
生活習慣病の予防	668～673
職場の健康管理	674～677

医療法	678
保健師助産師看護師法	679
看護職員の確保・労働と関係法規	680

## CHAPTER 5 基礎看護学

P.144～

看護の本質	681
看護の対象	682～683
健康と生活	684
看護における倫理	685
対象との関係の形成	686
看護における連携と協働	687
コミュニケーション	688
学習支援	689～691
看護過程	692～694
フィジカルアセスメント	695～698
感染防止対策	699～702
安楽確保	703～705
死亡後のケア	706～707
環境の調整	708
食事・栄養の援助	709～710
排泄の援助	711～714
活動と休息の援助	715
清潔・衣生活の援助	716～717
呼吸・循環・体温調節	718～730
創傷管理	731～736
与薬	737～740
救命救急処置	741～744
生体機能のモニタリング	745～750

## CHAPTER 6 成人看護学

P.158～

成人期の心理・社会的特徴	751
生活習慣病の要因	752
就労条件・環境と疾病との関係	753
ストレス関連疾患の要因	754
急性期における看護の基本	755
救命看護・クリティカルケアの基本	756～759
術前の看護	760～761
術中の看護	762～764
術後の看護	765
術後合併症と予防	766～774
化学療法	775
放射線療法	776
緩和ケアを必要とする患者と家族の看護	777～780
終末期ケア・死前教育	781～782
気管支鏡検査	783～785
胸腔穿刺	786～787
慢性閉塞性肺疾患<COPD>	788
気管支喘息	789

大動脈内バルーンパンピング <IABP>	790
ペースメーカー	791
心不全	792
消化管造影	793
消化管内視鏡	794
腹腔穿刺	795
腹腔鏡下手術	796
食道癌	797
肝硬変	798
高尿酸血症	799
糖尿病神経障害	800
骨髄穿刺	801
造血幹細胞移植	802
髄液検査	803
言語機能障害	804
脳血管障害	805
突発性難聴	806
ギプス固定	807
人工関節置換術	808
四肢切断後	809
乳癌手術	810

## CHAPTER 7 老年看護学

老年期と発達・変化	811~812
高齢者のいる家族の機能の変化	813
要介護・要支援の認定と区分	814
その人らしい生活の継続	815
高齢者の健康の特徴	816~818
加齢に伴う身体的機能の変化	819~823
余暇活動と生きがい	824
就労・雇用	825
収入、生計	826
老年看護の概念	827
高齢者差別の防止	828
高齢者虐待の防止	829
高齢者の権利擁護(アドボカシー)	830~833
人生の統合をはかる支援	834
高齢者の生活を支える看護	835~837
脱水症	838~839
低栄養	840
尿失禁	841~842
便秘・下痢	843
睡眠障害	844
視覚障害	845~846
聴覚障害	847
皮膚の障害	848
認知症	849
うつ病	850
骨粗鬆症	851
骨折	852
感染症	853

エンド・オブ・ライフケア <end-of-life-care>	854
家族全体への影響と介護への適 応	855
介護保険施設などに入所する高 齢者の暮らしと看護	856~860

## CHAPTER 8 小児看護学

小児医療・小児看護の変遷と課題	861~862
子どもの権利	863
成長・発達の原則	864~866
子どもの成長・発達のアセスメン ト	867~869
形態的・機能的発達	870~871
心理・社会的発達	872~874
乳児期の成長・発達に応じた生活 への支援	875~879
事故防止	880~881
幼児期の成長・発達に応じた生活 への支援	882
学童期の成長・発達に応じた生活 への支援	883~885
思春期の成長・発達に応じた生活 への支援	886
痛みを表現している子どもと家族 への看護	887
活動制限が必要な子どもと家族 への看護	888~889
感染対策上隔離が必要な子ども と家族への看護	890
検査や処置を受ける子どもと家族 への看護	891~892
虐待を受けている子どもと家族へ の看護	893
急性症状のある子どもと家族への 看護	894~895
救命救急処置が必要な子どもと 家族への看護	896~897
慢性疾患をもつ子どもと家族への 看護	898~899
先天性疾患のある子どもと家族へ の看護	900~907
心身障害のある子どもと家族への 看護	908
医療的ケアを必要として退院する 子どもと家族への看護	909~910

## CHAPTER 9 母性看護学

リプロダクティブ・ヘルスに関する 概念:性<セクシュアリティ>	911
生殖に関する生理	912
性周期	913~914
受精・着床	915
母体保護法	916~917

P.170~

P.180~

P.190~

女性の就労に関する法律	918~919
思春期・成熟期女性の健康課題①	
第二次性徴, 月経異常	920~922
思春期・成熟期女性の健康課題②	
性感染症	923
思春期・成熟期女性の健康課題③	
不妊症	924
更年期・老年期女性の健康課題と看護	925~926
妊娠の経過と胎児の発育	927~931
妊娠期の母体の生理的变化	932~933
妊娠による不快症状	934~936
妊婦の健康状態と胎児の発育	937~939
嗜好品(喫煙, アルコール)	940
胎児心拍数図	941
出産の準備	942
流産・早産	943~944
感染症	945
常位胎盤早期剥離	946
前置胎盤	947
妊娠高血圧症候群	948
分娩の定義	949
分娩の3要素	950
分娩の経過	951~956
破水	957
胎児機能不全	958
分娩の健康問題に対する看護	959~960
産褥期の身体的特徴	961~962
産褥復古に関する支援	963
産褥期の健康問題に対する看護	964~966
死産した親への看護	967
早期新生児の健康と発育のアセスメント	968
新生児の生理と看護	969~972
早期新生児と家族への看護	973~977
早期新生児の健康問題に対する看護	978~979
母子保健法に関する施策の活用	980

P.204~ **CHAPTER 10**  
**精神看護学**

精神の健康の概念	981~983
転移感情	984
精神の健康に関する普及啓発	985
災害時の地域精神保健医療活動	986
精神の健康とマネジメント:リエゾン精神看護	987
症状性を含む器質性精神障害	988
精神作用物質使用による精神・行動の障害	989~992
統合失調症	993~1003
気分(感情)障害	1004~1009
神経症性障害, ストレス関連障害, 身体表現性障害	1010~1012

生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	1013
援助関係の構築	1014
神経伝達物質と精神機能・薬理作用	1015
心理・社会的療法	1016~1020
社会復帰・社会参加への支援	1021~1022
社会資源の活用とケアマネジメント	1023
精神保健医療福祉の変遷と看護	1024
精神保健及び精神障害者福祉に関する法律<精神保健福祉法>の活用	1025~1030

P.214~ **CHAPTER 11**  
**在宅看護論**

在宅看護の対象と背景	1031~1032
在宅療養を支援する仕組み	1033~1036
在宅療養者の自立・自律支援	1037
在宅療養者の家族への看護	1038~1040
日常生活における安全管理	1041~1042
排泄補助用具の種類と選択法	1043~1045
訪問看護制度の法的枠組み	1046~1051
訪問看護サービスの仕組みと提供	1052~1055
在宅療養生活を支える看護	1056~1062
回復期(リハビリテーション期)にある療養者	1063~1065
終末期にある療養者	1066~1067
薬物療法	1068~1069
酸素療法	1070~1072
人工呼吸療法	1073~1074
膀胱留置カテーテル法	1075
胃瘻, 経管栄養法	1076
在宅中心静脈栄養法	1077~1078
褥瘡管理	1079
医療機関との入退院時の連携	1080

P.224~ **CHAPTER 12**  
**看護の統合と実践**

医療・看護の質保証	1081~1083
保健医療の機能分化と連携	1084
情報のマネジメント	1085~1087
医療安全のマネジメント	1088~1092
災害と看護	1093~1097
国際化と看護	1098~1100

**[別冊] 穴埋めドリル** ※ 取りはずせません